

次世代から動かすMICE

～地域と次世代で築く、認知拡大と人材育成の提言～

令和 7年 6月 5日
JCCB 次世代部会

CONTENTS

- 01 はじめに
- 02 課題の整理
- 03 提言 1
- 04 提言 2
- 05 付記

01

はじめに

次世代部会で考えたMICEの現状と課題

01 はじめに

【次世代部会設立の趣旨・目的】

- ①次世代を担う人財のための場として、MICE 業界の認知向上等、将来の業界の発展に必要なことを『ボトムアップ』で考え、企画委員会に新しい意見を提言および企画・提案することを目的とする。
- ②比較的 MICE 業界歴の浅い方を構成員とすることで「（業界団体への）新しい風の創出」を期待する。また、業界内の様々な団体・企業に所属する委員との次世代部会活動を通じて、コミュニケーション力や企画力、リーダーシップ等、今後の日本社会を担う人財として求められる能力の向上も目指す。

【全体ミーティング実施スケジュール】

8月22日（木）第1回オンライン

10月2日（水）第2回オンライン

12月16日（月）第3回オンライン

3月13日（木）第4回実開催

5月22日（木）第5回

上記ミーティング開催とは別にSlackを使ったコミュニケーションを図った。

部会長
副部会長
メンバー

岡本 直大
上田 千恵
石橋 育恵
松崎 水如
永見 仁志
高橋 郁美
五十嵐 寛人
高村 拓
澤田 弓弦
中田 裕樹

（公財）松山観光コンベンション協会
（株）PCO
松江コンベンションビューロー（一財）くにびきメッセ
（株）JTB コミュニケーションデザイン
（公財）とっとりコンベンションビューロー
（公財）名古屋観光コンベンションビューロー/名古屋国際会議場
（株）コングレ
bravesoft（株）
（公財）仙台観光国際協会（第4回まで）
（公財）八王子観光コンベンション協会（第4回まで）

（メンター）

高橋 啓 （株）コングレ
三崎 拓哉 日本コンベンションサービス（株）
村上 愛美 （公財）ちば国際コンベンションビューロー（第2回まで）

01 はじめに

MICE目標 (新時代のインバウンド拡大アクションプラン)

「2030年までにアジアNO1の国際会議開催国としての不動の地位、世界5位以内」

→MICE誘致力強化は首都圏のみならず、全国レベル（地方都市も）で求められている。

現状と課題

「MICEの概念や社会的・経済的価値など一部の人にしか理解されておらず、可能性を活かしきれていない。」

→経済効果を地域内で享受できておらず、誘致機会損失や経済効果（需要）の取りこぼしがある。

→MICEと親和性の高い人材が雇用に繋がっておらず、他業界・他業種に流失している。

課題解決に向けた可能性

「国内大会も含めるとMICEと認知されていないが、開催はされている」

→市民公開講座やまちバル形式での懇親会など、主催者が地域に歩みよる事例も多い。

02 課題の整理

【MICEの認知に対する課題】

- ・ MICE（主にコンベンション）に触れる機会はあるが、「MICE」という言葉や概念自体が十分に認知されておらず、自身が関わっているイベントがMICEに該当するという認識も持たれていない。また、理解していても関与する意義や方法が分かりにくい。
- ・ MICEがもたらす好影響に対して、その価値が十分に可視化・実感されておらず、積極的な関与に至っていない。

実際にMICEを「見て」「関わる」体験や、学ぶ機会の提供が重要である。

【体験や機会の提供により得られるもの】

1.MICEの理解促進

2.地元ステークホルダーの意識醸成

3.人材育成

03

提言 1

「“知る”から始まるMICEの拡がり：業界参入を支える認知戦略」
～MICEを“他人ごと”から“自分ごと”へ：多層的アプローチの提言～

03 提言 1

“知る”から始まるMICEの拡がり：業界参入を支える認知戦略
～MICEを“他人ごと”から“自分ごと”へ：多層的アプローチの提言～

ステークホルダーに対して我々が日々感じていること

MICE主催者からの
要望に対応できる
地域の事業者がない

【例】

- ・ ケータリング
- ・ フードダイバーシティ
- ・ ユニークベニュー



主催者や参加者の
満足度を高めて、
さらなる誘致に繋げたい。

→もっとブラッシュアップした製
品・サービスを提供できないかな？



地域で開催するMICEが
あっても
首都圏から持ち込みがあり
自都市への経済効果に繋
がっていないことも
→ビジネスチャンスがあるのに、
なんで地元はやらないの？



03 提言 1

“知る”から始まるMICEの拡がり：業界参入を支える認知戦略
～MICEを“他人ごと”から“自分ごと”へ：多層的アプローチの提言～

【課題】

- ・ MICE業界における地域企業のビジネス参入は限られた業種や企業に限られている
- ・ 特定の慣れ親しんだ企業に依存しがちで、競争原理が働きにくい。
→製品・サービスの向上が進まず、参加者の満足度や国際水準の遅れを招くことも。
- ・ MICEをそもそも知らない。知っていてもビジネスとしての参入方法が分からない。

**MICE業界にある需要が広く認知されていない
もっとビジネス参入があっても良いのに！**

【取り除くべき壁】 情報の不足 → MICE参入の方法が分からない（他社の成功事例や存在など）

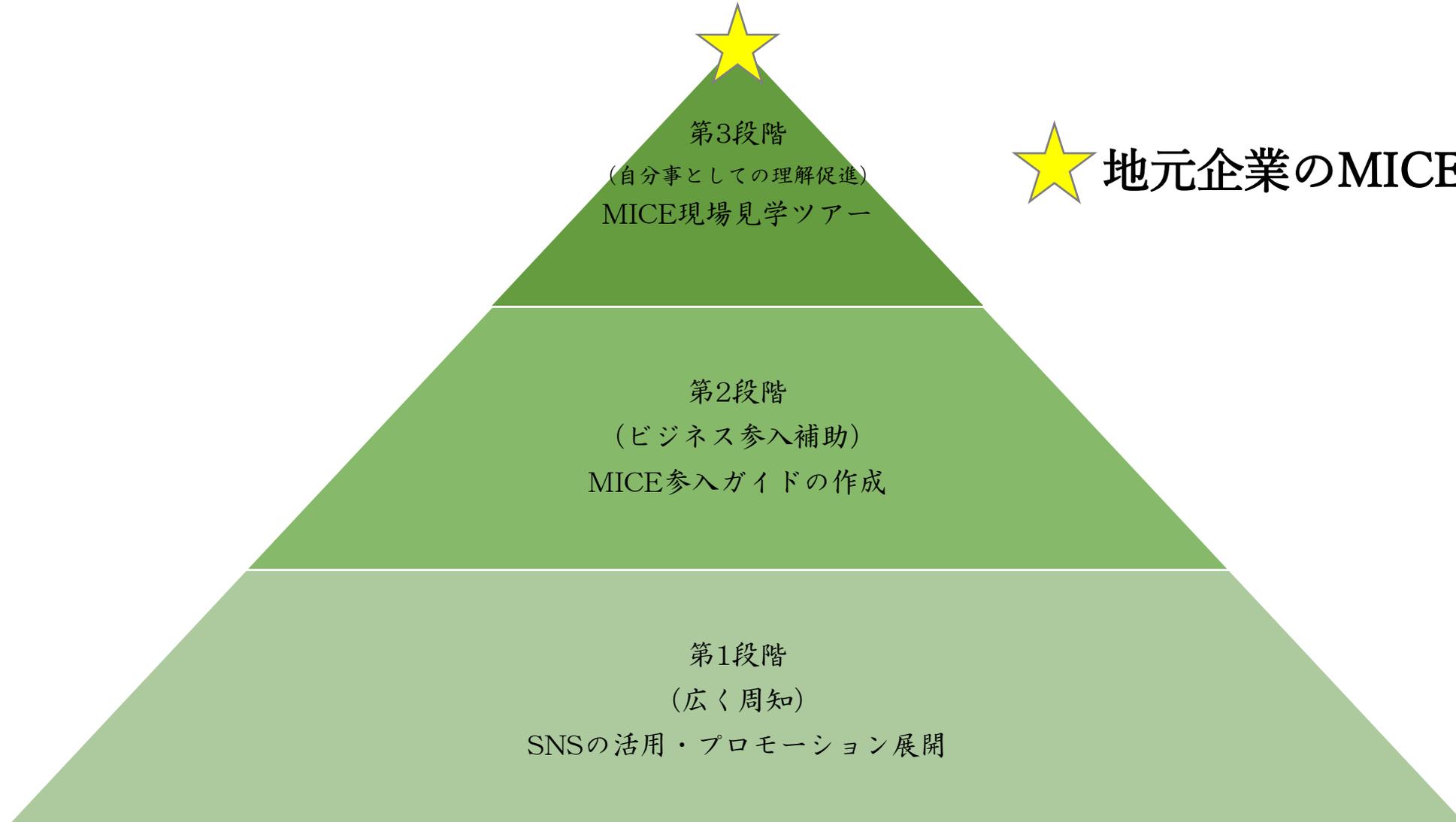
- 【チャンス】
1. 参入障壁が低い（大規模な設備投資や専門的なインフラの必要はない。）
 2. MICE誘致は地域間競争であるため、地域一体となれば乗り越えられることも。

03 提言 1

“知る”から始まるMICEの拡がり：業界参入を支える認知戦略
～MICEを“他人ごと”から“自分ごと”へ：多層的アプローチの提言～

～提案内容～

MICEの認知度合いに応じた3段階のアプローチを提供する。



★ 地元企業のMICEへの参入

03 提言 1

“知る”から始まるMICEの拡がり：業界参入を支える認知戦略
～MICEを“他人ごと”から“自分ごと”へ：多層的アプローチの提言～



第2段階：MICE参入ガイドの作成

- 発注事例や他都市の成功事例を集約しマニュアル化
- MICE業界の“見える化”を図る

第1段階：

1. 著名人（ローカルインフルエンサー）をMICEアンバサダーとして起用
 - MICEを文章や写真・動画でPR
 - MICEに接点のない人へも情報が届く
2. 「#MICEの日」全国発信キャンペーン
 - 全国的に「MICEの日」を祝い機運醸成。
 - SNSで一斉発信し、トレンド入りを！

03 提言 1

“知る”から始まるMICEの拡がり：業界参入を支える認知戦略
～MICEを“他人ごと”から“自分ごと”へ：多層的アプローチの提言～

飲食関連 □ ケータリング料理 □ ○○市○○会議での事例

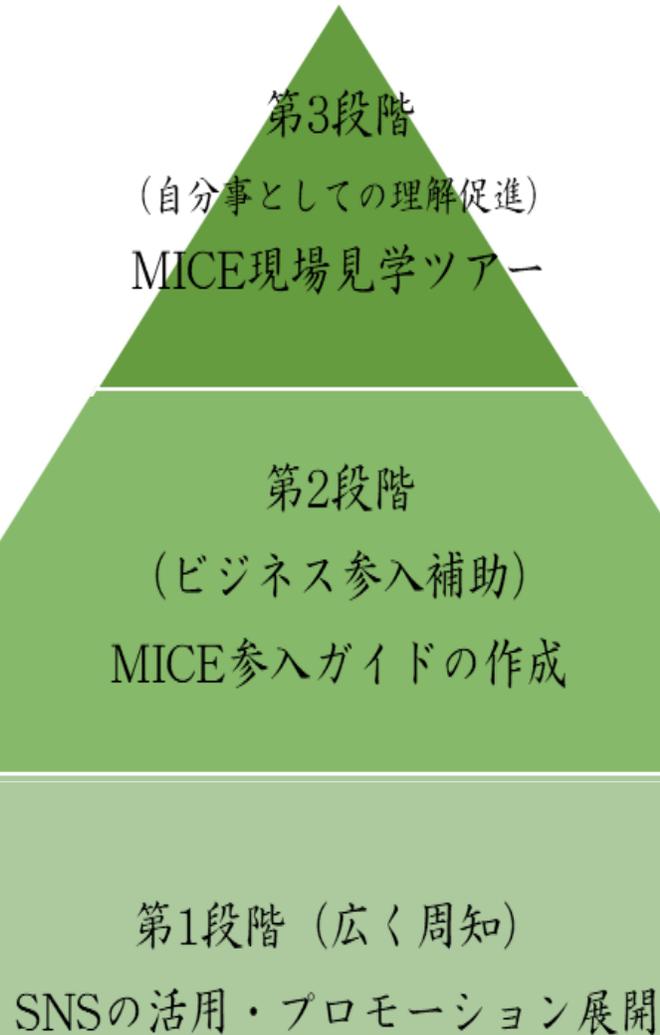
主催者からの要望	ハラール、アレルギー等に対応したローカルフードの提供
事業者の対応	全料理で対応するのではなく、各料理にハラールやアレルギー表記を行うことで、各人が食べられる料理を自身で判断する方法を採用。
単価、メニュー	8,000 円（飲み放題別、税込）、製品の画像添付

観光関連 □ 観光施設の営業時間変更 □ △△市△△会議での事例

主催者からの要望	通常の営業時間ではなく夜間の対応もして欲しい
事業者の対応	商店街振興組合加盟店舗へ情報共有し、賛同店舗のみで対応。夜間対応することで、売上が50%UP。MICE参加者にはリストバンドを配布し区別した。
単価、メニュー	6,000 円（ワンドリンク付）、MICE参加者向けメニューを各店舗が設けた。

03 提言 1

“知る”から始まるMICEの拡がり：業界参入を支える認知戦略
～MICEを“他人ごと”から“自分ごと”へ：多層的アプローチの提言～



第3段階：MICE現場見学ツアー

- 参加者や主催者の声を直接見て・聞いて・感じる場
- 既存の参入企業との交流会開催で異業種交流やMICE参入の悩み相談の場を創出。

第2段階：MICE参入ガイドの作成

- 発注事例や他都市の成功事例を集約しマニュアル化
- MICE業界の“見える化”を図る

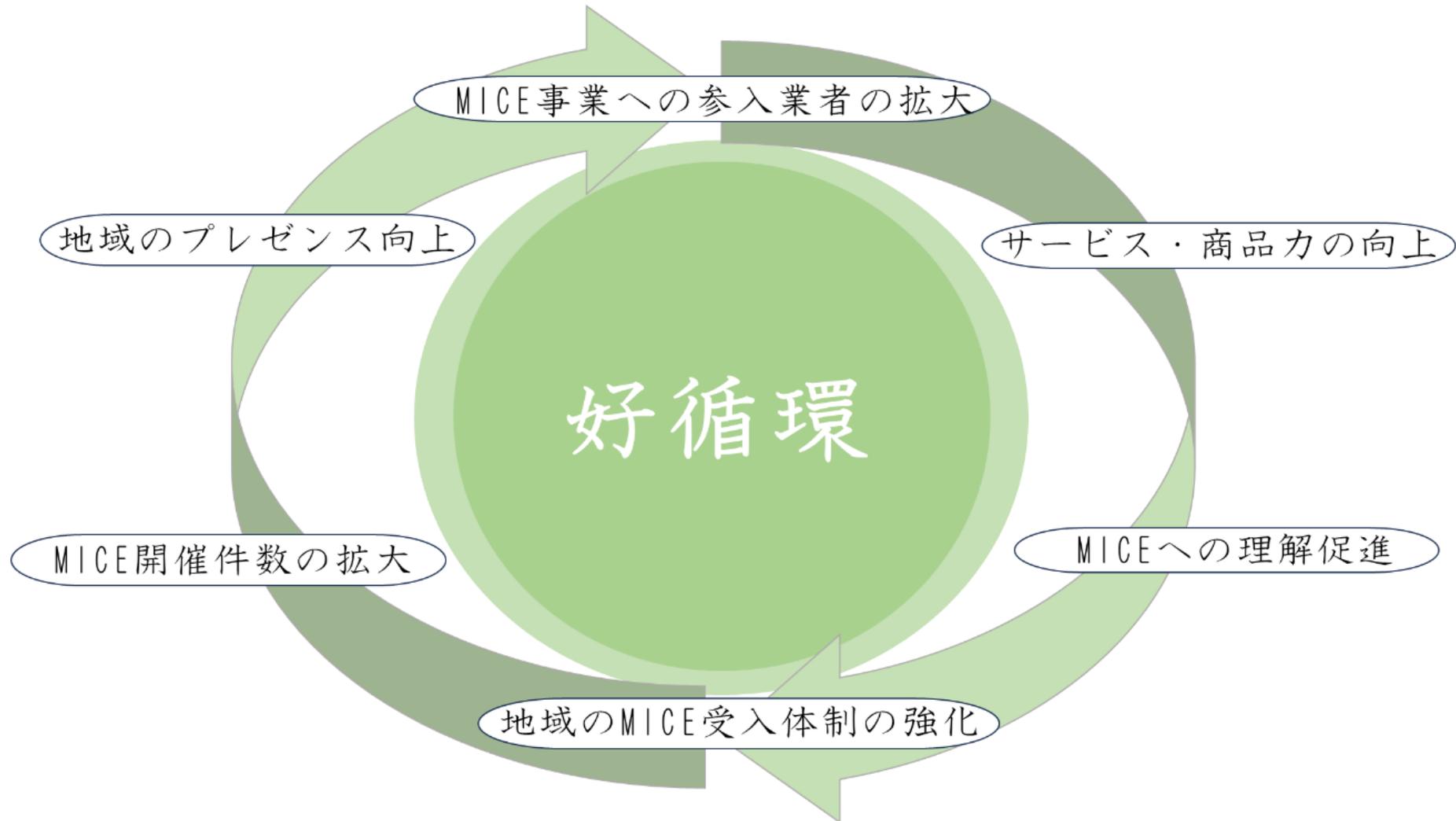
第1段階：

1. 著名人（ローカルインフルエンサー）をMICEアンバサダーとして起用
 - MICEを文章や写真・動画でPR
 - MICEに接点のない人へも情報が届く
2. 「#MICEの日」全国発信キャンペーン
 - 全国的に「MICEの日」を祝い機運醸成。
 - SNSで一斉発信し、トレンド入りを！

03 提言 1

“知る”から始まるMICEの拡がり：業界参入を支える認知戦略」
～MICEを“遠いもの”から“自分ごと”へ：多層的アプローチの提言～

ステークホルダーのMICE認知による業界への効果



04

提言2

「YOUTH MICE JAPAN：大学から未来を動かす力」
～観光学部をターゲットにしたMICE業界の認知向上～

～疑問～

全国各地に観光学部を持つ大学があるものの、
MICE業界への就職やMICE教育が著しく少なくないかな？

全国の観光学部を扱う大学を調査、そこから見えてきた課題について

全国の観光学部調査



観光学を扱う大学数

144校

MICEに特化した講義がある大学

23校

商学部の中の観光産業学科

人々が地域間を行き交うことは、地域間に経済的そして社会的に大きな効果を及ぼすことが知られています。私たちの観光には、そうしたさまざまな経済的効果、社会的効果をもたらす人々の移動の活動現象すべてを含んでいるのです。そこには、旅行業に関連する見学・見物の旅行はもちろんのこと、ビジネスと遊びを兼ねたいわゆる兼観光、そしてコンベンションをはじめとする近年MICE*と言われるビジネス活動まで含んでいます。

そうした広い活動をサポートするのは、従来の観光だけの観光業だけではなく、活動に関連する横断的で広い範囲のすべての産業となります。それを私たちは観光産業と呼びます。それを学び理解するためには、ビジネスに対する広い知識と理解が必要です。私達の「観光産業学科」が商学部の中にある意義がここにあります。

(*MICE: Meeting + Incentive + Convention/Conference + Event/Exhibition)

移動せずに世界を旅する
新しいスタイルの観光が誕生。

たとえ移動が制限されていても、ARやVRなどのテクノロジーを活用すれば、世界中を旅することも不可能ではありません。多くの産客が見込まれ、経済効果の大きいビジネス関連イベントのMICE（※）では、イベントの開催や運営にARやVRを生かす動きがすでに広がっています。テクノロジーのスキルをもつ人材は、今後の観光業界で強く求められるはず。新しい形の観光を創造するキーパーソンになるでしょう。

※MICEとはMeeting（企業等の会議）、Incentivetravel（企業等の行つ振興旅行）、Convention（学会・国際会議）、Exhibition/Event（展示会・イベント）の頭文字からの略称



Eric Hawkin
グローバル観光学科
専門（Learning Tec

Profile
米国ボイジャー州立大学教育学研究科修士。事に従事した後、2005年から京都へ。研ITと教育を融合させた「教育メディア・教育と観光とICTの関係も研究している。



MICEに特化した講義がある大学のち2校のみが自身のHPでMICEについて記載

学生のMICE認知不足により進路に偏りが生じている

MICE教育の不足

圧倒的なMICE教育の不足

MICE認知不足

学生の多くはMICEという分野を知らない・もしくは聞いたことがあっても具体的な職業イメージが湧かない。結果として観光産業系の進路は「旅行・航空・ホテル」へと偏る

情報発信不足

情報発信の不十分さ

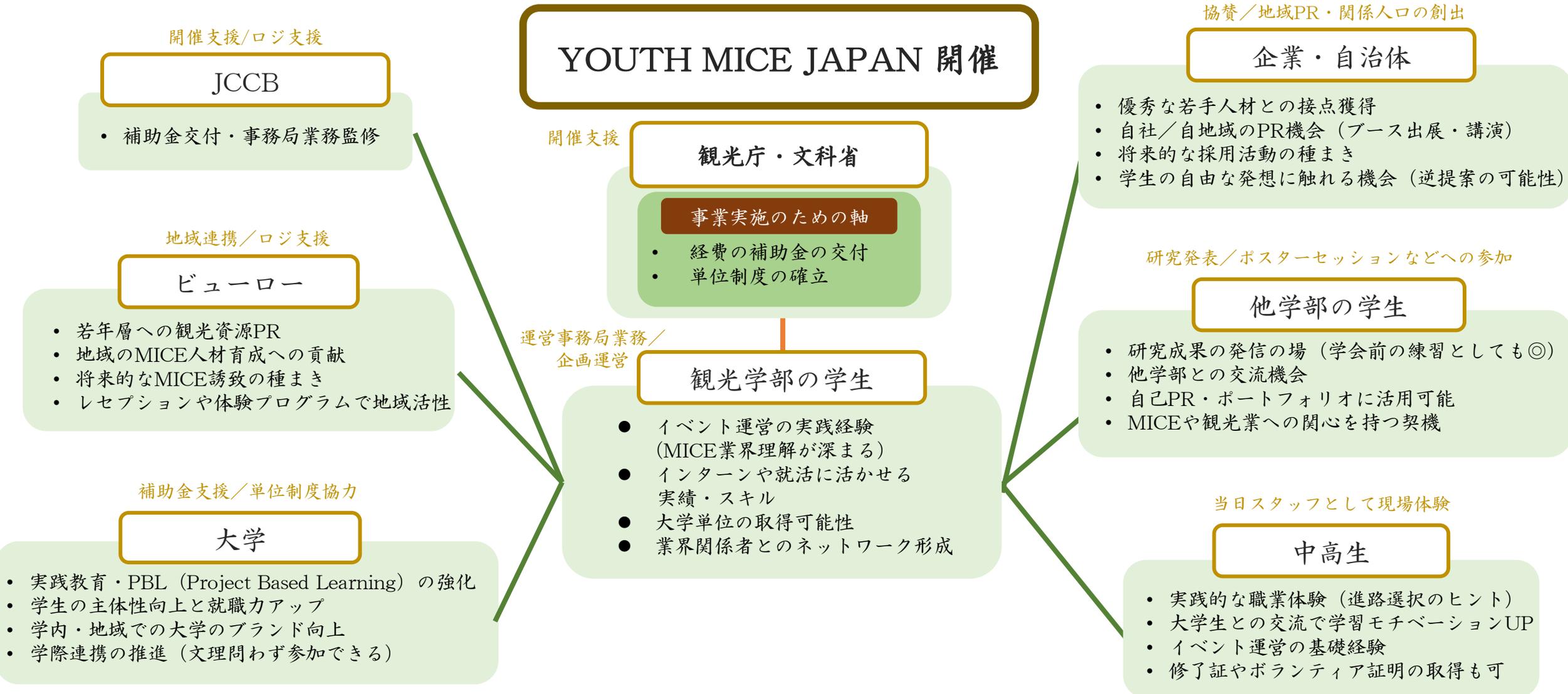
MICEに特化した教育を行っている大学できえ、その取り組みを大々的に自身の学部ホームページに記載していないケースが多い（23校中わずか2校が記載）これはMICE分野の重要性がまだ十分に認識されていない可能性を示している。

進路の偏り

04 提言2

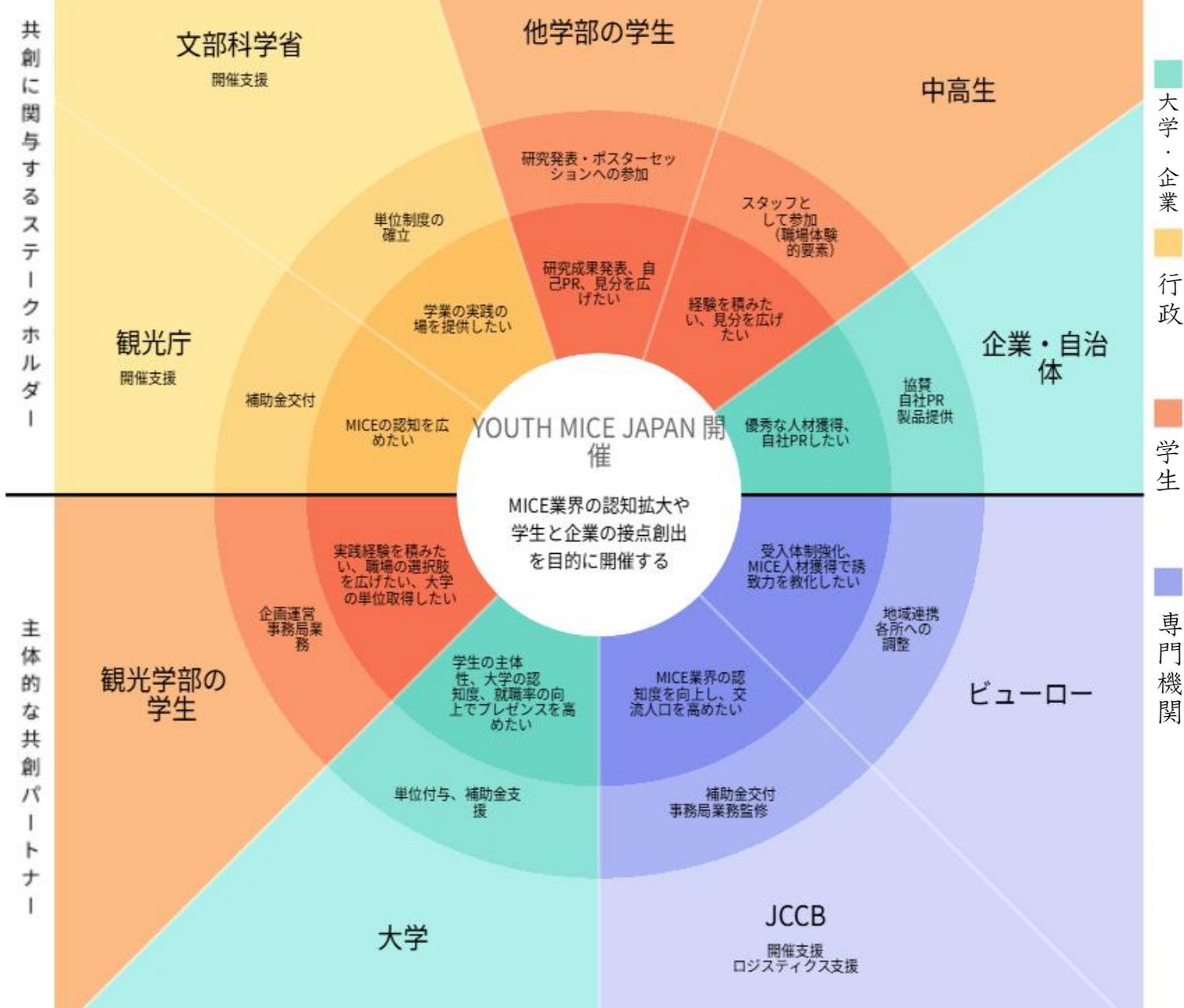
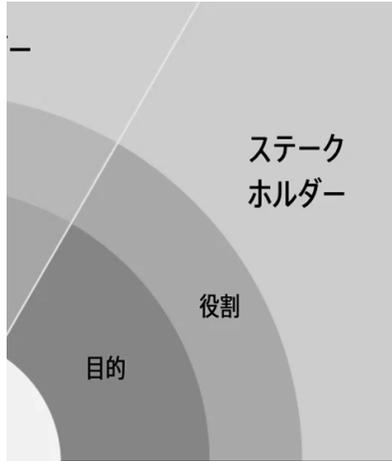
「YOUTH MICE JAPAN：大学から未来を動かす力」 ～観光学部をターゲットにしたMICE業界の認知向上～

観光学部のある大学において、観光学部の学生に運営事務局を担ってもらうユース版MICEを実施し、その他の学生には研究発表をしてもらう。また、中高生にも当日スタッフとして参加の機会を提供する。会議開催時には著名人を呼ぶことで注目を集め、実施のための経費として補助金を交付。大学と協力し、事務局・イベントに参加する学生へ単位を付与できるような仕組み作りも行う。レセプション等もビューローと連携をするようなプログラムを想定。



04 提言 2

「YOUTH MICE JAPAN：大学から未来を動かす力」 ～観光学部をターゲットにしたMICE業界の認知向上～



04 提言 2

「YOUTH MICE JAPAN：大学から未来を動かす力」
～観光学部をターゲットにしたMICE業界の認知向上～

ロードマップ



MICEリーダー国・日本の実現
MICE人材の「質・量」とともにアジアNo.1へ



全国の観光学部で
MICEカリキュラム正式導入
就職先として広く認知（就職カテゴリーのチェック欄に掲載）
MICE業界への就職率の向上
観光学部に限らない全国でのMICE授業の実施

制度認定

教育機関・カリキュラムとしての公的認可

実証実験開始

2025

1
Stage



MICE教育に関する
調査・ニーズ分析

2026

2
Stage

2027

3
Stage

2029

4
Stage

2030

5
Stage

認知度上昇

現状の課題点とその解決策について

学生の負担

学生の負担とモチベーション管理…

就職活動や授業、ゼミなどと並行して活動することになり、負担が大きい気がする…



解決策

- 一初回に業界インパクトやキャリア事例を紹介
- 一実在イベントの見学や関係者講演で関心UP

他学部のメリット

他学部に対するメリットが見えづらい

テーマ設定が観光に偏ると参加しづらいな…僕らのメリットはあるの？



解決策

- 一経営・語学・地域政策など各学問と結びつけた応用展開例を提示
- 一学内広報の方法や動機づけの工夫で他学部からの関心UP

教授の負担増加

MICEに特化した教授が少ない

カリキュラム設計・教材開発・実習支援など時間的コストや負担が大きいな…



解決策

- 一共同授業（チームティーチング）を活用
- 一TAや学生スタッフの育成
- 一他大学の教材・事例を共有し効率化

04 提言2

「YOUTH MICE JAPAN：大学から未来を動かす力」
～観光学部をターゲットにしたMICE業界の認知向上～

MICEは新たな視野を開くチャンス・・・観光学部だからこそできるMICE人材の育成

- 多くの観光学部生は「人と接する仕事＝BtoC」に魅力を感じ入学
- ホテル・旅行会社・航空系などが進路の中心
- 一方、MICE業界はBtoB（法人・団体を対象）の仕事
- MICEも「人をつなぎ、感動を創出する」やりがえのある仕事
→接客ではない形で“観光の可能性”を実現できる



MICE教育を導入することで、
学生のキャリア選択肢が大きく広がる

04 提言2

観光学部に関する調査

北海道・東北地方

北海道5校・青森2校・岩手0校・宮城2校・秋田1校・山形1校・福島1校

	大学名	学部名	学科名
北海道	★札幌国際大学	観光学部	観光ビジネス学科
	札幌大学	地域共創学群	リベラルアーツ専攻
	東海大学（札幌キャンパス）	国際文化学部	地域創造学科
	北海道商科大学	商学部	商学科
	★北海商科大学	商学部	観光産業学科
青森	青森大学	総合経営学部	経営学科フィールド・ツーリズムコース
	弘前大学	人文社会科学部	社会経営課程企業戦略コース
宮城	東北文化学園大学	現代社会学部	現代社会学科
	石巻専修大学	経営学部	経営学科地域観光・マーケティングモデル
秋田	ノースアジア大学	総合政策学部	国際学科 国際関係・安全保障コース
	ノースアジア大学	総合政策学部	国際学科 観光コース
山形	東北公益文科大学	公益学部	公益学科観光・まちづくりコース
福島	東日本国際大学	経済経営学部	経済経営学科観光マネジメントコース

★札幌国際大学
MICE科目「観光とMICE」
「MICEビジネスについて」の講義を実施



サウナイベント「サウナの街サッポロ-Sauna City Sapporo」にテントサウナ出展



国際大学生が企画した
仁木町のワイナリーでバスツアーを実施

★北海商科大学

北海商科大学 大学案内 学部・大学院 入学案内 教育・研究活動 学生生活 留学・国際交流 キャリア支援



北海商科大学ホームページ

HPIにMICEの紹介あり



北海商科大学が中心となり、教員、地元住民、地元企業で組織された、創成東エリアの「愛される街づくり活動」



「創成東まちづくりの集い」
ツーリズムに関する取組のアイデアや企画案を発表する「miniマチピッチ」を開催



04 提言2

観光学部に関する調査

関東地方

茨城	常盤大学	総合政策学部	総合政策学科	
	流通経済大学	共創社会学部	国際文化ツーリズム学科	
栃木	作新学院大学	経営学部	経営学科	
群馬	高崎経済大学	地域政策学部	観光政策学科	
	高崎商科大学	商学部	経営学科観光まちづくりコース	
埼玉	★跡見学園女子大学	観光コミュニティ学部	観光デザイン学科	
	浦和大学	社会学部	現代社会学科	
	共栄大学	国際経営学部	国際経営学科 観光ビジネスコース	
	★淑徳大学	経営学部	観光経営学科	
	駿河台大学	経済経営学部	観光&国際ビジネスコース	
	★西武文理大学	サービス経営学部	サービス経営学科	
	大東文化大学	文学部	歴史文化学科観光歴史学コース	
	獨協大学	外国語学部	交流文化学科	
	★立教大学	観光学部	観光学科	
	立正大学	データサイエンス学部	データサイエンス学科	
	城西大学	経営学部	マネジメント総合学科	
	東京国際大学	国際関係学部	国際関係学科	
	東京国際大学	国際関係学部	国際メディア科	
	東京国際大学	国際関係学部	国際関係学科	
	千葉	★明海大学	ホスピタリティ・ツーリズム学部	
		敬愛大学	国際学部	国際学科観光マネジメント専攻
秀明大学		観光ビジネス学部	観光ビジネス学科	
城西国際大学		観光学部	観光学科	
和洋女子大学		国際学部	国際学科	

茨城2校・栃木1校・群馬2校・埼玉12校・千葉5校・東京23校・神奈川8校

東京	★東京都立大学	都市環境学部	観光科学科
	日本大学	国際関係学部	国際総合政策学科グローバル観光コース
	東海大学（品川キャンパス）	観光学部	観光学科
	文京学院大学	ヒューマン・データサイエンス学部	
	★東洋大学（白山キャンパス）	国際観光学部	国際観光学科
	川村学園女子大学	生活創造学部	観光文化学科
	★帝京大学	経済学部	地域経済学科
	★帝京大学	経済学部	観光経営学科
	★帝京平成大学	人文社会学部	観光経営学科
	二松学舎大学	文学部	都市文化デザイン学科
	亜細亜大学	経営学部	ホスピタリティ・マネジメント学科
	★桜美林大学	ビジネスマネジメント	観光・ホスピタリティ・エンターテインメントビジネス領域
	大正大学	地域創生学部	公共政策学科
	文化学園大学	国際文化学部	国際文化・観光学科
	★杏林大学	外国語学部	観光交流文化学科
	駒沢女子大学	観光文化学部	観光文化学科
	松蔭大学	観光メディア文化学部	メディア情報文化学科
	松蔭大学	観光メディア文化学部	観光文化学科
	実践女子大学	国際学部	国際学科
	玉川大学	観光学部	観光学科
	日本経済大学	経済学部	商学科ホテル・観光ビジネスコース
	昭和女子大学	国際学部	国際日本語学科
	武蔵大学	人文学部	英語英米文化学科交流文化・観光コース
★東京富士大学		イベントプロデュース学科	
目白大学	社会学部	地域社会学科	
神奈川	東海大学（湘南キャンパス）	体育学部	スポーツマネジメント科
	國學院大學	観光まちづくり学部	観光まちづくり学科
	多摩大学	グローバルスタディー	グローバルスタディーズ学科
	関東学院大学	国際文化学部	国際文化学科
	相模女子大学	人間社会学部	地域クリエーション学科
	★相模女子大学	学芸学部	英語文化コミュニケーション学科
	★横浜商科大学	商学部	観光マネジメント学科
	フェリス学院大学	グローバル教育学部	国際社会学科
神奈川大学	国際日本学部	国際文化交流学科 国際関係専攻	

04 提言2

観光学部に関する調査

★東洋大学



株式会社コングレの国際会議の企画運営を担当する鈴木 渉子が、日本観光振興協会 寄附講義「観光企業概論」で講義

★首都都立大学



「MICE論」の授業において、株式会社コングレコンベンション事業本部 東京事業部 部長 西村 郁子が登壇し、「コンベンション会社の仕事」をテーマに講義

★横浜商科大学



MICEビジネスの中核人材育成と人的ネットワーク構築を目的とした全6回の講座を開催。受講生は7グループに分かれ、旅行会社から提示された課題の解決策をプレゼン形式で発表した。

★立教大学



埼玉の魅力再発見！

～観光学部生による地元観光のススメ～

7/6(火)～7/10(土)

ららぽーと富士見 1階屋内広場

武蔵野銀行との産学連携プロジェクト「ぶらって埼玉プロジェクト」の一環として、埼玉県内観光の魅力調査・研究を実施。三井不動産商業マネジメントの協力のもと、「三井ショッピングパークららぽーと富士見」にて、地元・埼玉の魅力発信を目的とした、活動報告と企画展示を行った。

★帝京平成大学



震災復興経験をもつ神戸・岡本商店街を対象とした講義を実施。岡本商店街理事会における学生案の提案、まちあるき、レジェンドの話を聞く会、地域交流会、フィールドワーク等を実施



★跡見学園女子大学



観光デザイン学科の塩月ゼミが東伊豆町の地域活性化事業で、サッポロビールとカクテル『いずのはるサワー』を共同開発。2025年2月下旬から3月までの期間限定で、温泉で有名な同町の旅館やホテルなど12施設の飲食メニューに加えられ、宿泊客などに販売

04 提言2

観光学部に関する調査

中部地方

新潟1校・富山1校・石川4校・福井1校・山梨0校・長野3校・岐阜1校・静岡4校・愛知6校

新潟	★新潟経営大学	経営情報学部	経営情報学科
	新潟産業大学	経済学部	文化経済学科
富山	富山国際大学	現代社会学部社会学部	現代社会学科学科観光専攻
石川	北陸学院大学	社会学部	社会学科
	金沢大学	融合学域	観光デザイン学類
	公立小松大学	国際文化交流学部	国際観光・地域創生コース
	金沢星稜大学	経済学部	地域システム学科
福井	仁愛大学	人間学部学部	コミュニケーション学科
長野	松本大学	総合経営学部	観光ホスピタリティ学科
	長野大学	環境ツーリズム学部	環境ツーリズム学科観光分野
	清泉大学	人間学部	心理コミュニケーション学科英語コミュニケーション
岐阜	岐阜大学	社会システム経営学環	
静岡	日本大学（三島キャンパス静岡）	国際関係学部	国際教養学科グローバル観光コース
	浜松学院大学	地域共創学部	地域経営学科 観光専攻
	静岡県立大学	経営情報学部	経営情報学科
	静岡英和学院大学	人間社会学部	人間社会学科 観光地域デザインメジャー
	星城大学	経営学部	経営学科観光・まちづくり部門
愛知	名古屋学院大学	法学部	法学科
	名古屋商科大学	国際学部	国際学科
	愛知学院大学	文学科	グローバル英語学科
	愛知東邦大学	経営学部	地域ビジネス学科
	愛知東邦大学	経営学部	国際ビジネス学科
	桜花学院大学	国際学部	国際学科

★新潟経営大学



経営学実地研究(観光まちづくり)市街地班では、加茂の商店を若者の力で元気にする研究プロジェクトにおいて、商店16店様にて若者誘致キャンペーン『スマホでおみくじガチャクーポン』を実施。31日の間に875件の「おみくじガチャクーポン」の発行があり、新たな顧客拡大につながった。



糸魚川市と新潟経営大学で観光連携に関する協定を締結。これをもって、観光経営学部の学生プロジェクトが主体となり進める「GrowCALカレッジ2019 in 糸魚川」がスタートし、現地フィールド調査、学生目線で観光資源の発見、「にいがた観光講座 in 糸魚川」の開催、学会発表などを経て、最終ゴールでは糸魚川市長に観光プランを提案。

04 提言2

観光学部に関する調査

近畿地方

三重0校・滋賀0校・京都7校・大阪13校

京都	嵯峨美術大学	芸術学部	デザイン学科観光デザイン領域
	福知山公立大学	地域経営学部	地域経営学科 交流観光系
	★京都外国語大学	国際貢献学部	グローバルスタディーズ学科
	京都橘大学	経済学部	経済学科
	京都橘大学	国際英語学部	国際英語学科
	京都文教大学	総合社会学部	総合社会学科観光・地域デザインコース
	立命館大学	文学部	人文学科地域観光学専攻
大阪	平安女子大学	国際観光学部	国際観光学科
	追手門学院大学	地域創造学部	地域創造学科
	大阪学院大学	経営学部	ホスピタリティ経営学科
	★大阪国際大学	国際教養学部	国際観光学科
	大阪産業大学	経済学部	観光ビジネスコース
	帝塚山学院大学	リベラルアーツ学部	リベラルアーツ学科社会マネジメント専攻観光・地域創生コース
	大阪公立大学	文学部	文学研究科 文化資源コース
	大阪観光大学	観光学部	観光学科
	★大阪成蹊大学	国際観光学科	国際観光学部
	近畿大学	経営学部	商学科観光・サービスコース
	四天王大学	社会学部	社会学科
	羽衣国際大学	現代社会学部	現代社会学科 観光コース
	羽衣国際大学	現代社会学部	現代社会学科 国際英語コース
阪南大学	国際学部	国際観光学科	
梅花女子大学	文化表現学部	日本文化学科 歴史・観光学専攻	

兵庫7校・奈良2校・和歌山1校

兵庫	関西国際大学	グローバル学部	グローバル学科
	流通科学大学	人間社会学部	観光学科
	芸術文化観光専門職大学	芸術文化観光学部	芸術文化観光学科
	芦屋大学	経営教育学部	経営教育学科経営マネジメントコース
	大手前大学	現代社会学部	観光マネジメント専攻
奈良	神戸国際大学	経済学部	国際文化ビジネス・観光学科
	宝塚医療大学	観光学部	観光学科
	奈良県立大学	地域創造学部	地域創造学部
和歌山	帝塚山大学	経済経営学部	経済経営学部・国際観光ビジネスプログラム
	和歌山大学	観光学部	観光経営コース
	和歌山大学	観光学部	地域再生コース
	和歌山大学	観光学部	観光文化コース
和歌山大学	社会インフォマティクス学環		

鳥取0校・島根1校・岡山1校・広島3校・山口3校

島根	島根県立大学	人間文化部	地域文化学科
岡山	岡山商科大学	経営学部	商学科 観光・地域開発コース
	岡山商科大学	経営学部	商学科 企画開発コース
広島	岡山商科大学	経営学部	商学科 マーケティングコース
	★安田女子大学	現代ビジネス学部	国際観光ビジネス学科
	比治山大学	現代文化学部	マスコミュニケーション学科
山口	広島修道大学	商学部	商学科
	梅光学院大学	国際学部	国際言語文化学科
	山口大学	経済学部	観光政策学科
	東亜大学	国際教養学部	観光文化学科コース
東亜大学	国際教養学部	国際ビジネスコース	

04 提言2

観光学部に関する調査

★京都外国語大学

移動せずに世界を旅する
新しいスタイルの観光が誕生。

たとえ移動が制限されていても、ARやVRなどのテクノロジーを活用すれば、世界中を旅することも不可能ではありません。多くの集客が見込まれ、経済効果の大きいビジネス関連イベントのMICE（※）では、イベントの開催や運営にARやVRを生かす動きがすでに広がっています。テクノロジーのスキルをもつ人材は、今後の観光業界で強く求められるはず。新しい形の観光を創造するキーパーソンになるでしょう。

※MICEとはMeeting（企業等の会議）、Incentive Travel（企業等の行う報酬旅行）、Convention（学会・国際会議）、Exhibition/Event（展示会・イベント）の頭文字からの造語



Eric Hawkinson 教授
グローバル観光学科
専門 [Learning Technology]

Profile

米国ボイジー州立大学教育学研究科修士。IT関連の仕事に従事した後、2005年から京都へ。研究テーマは、ITと教育を融合させた「教育メディア・教育技術」、教育と観光とICTの関係も研究している。



HPIにMICEの紹介あり MICE論の授業を英語で実施

★大阪国際大学



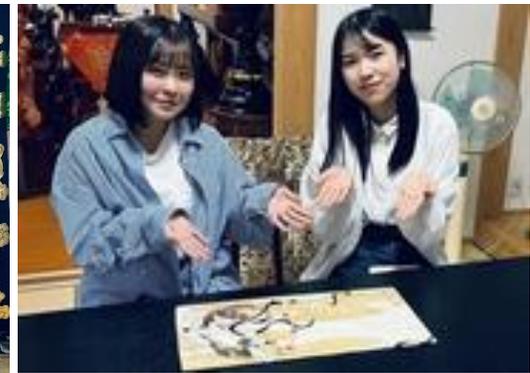
国際観光学科の学生が観光協会・奈良市と連携し、ならまちのオリジナルマップを作製。ならまちの神社や伝統的な町屋、カフェなどを実際に訪問してリスト化やマップのデザインを考案し、奈良市総合観光案内所やその他案内所に提供した。

★安田女子大学



オリエンタル広島では、国際観光ビジネス学科 畑井淳一ゼミと、「食を通じた異文化交流」を目的とした取り組みを初の試みとして共同企画し、2024年12月1日(日)から期間限定実際に提供した。

★大阪成蹊大学



兵庫県三田市と三田市観光協会が主催する、「さんだのまちを遊ぶ博覧会2024」にインバウンド観光客向けのイベントを企画出展。歴史文化を感じられる古刹で若者文化の匂である「推し活」を融合させたインバウンド観光客向けの企画を提案し、運営を行った。

04 提言2

観光学部に関する調査

四国地方

徳島0校・香川1校・愛媛1校・高知1校

香川	香川大学	経済学部	観光・地域振興コース
愛媛	愛媛大学	社会共創学部	環境デザイン学科
高知	高知県立大学	文化学部	文化学科地域文化創造系

九州地方・沖縄

福岡6校・佐賀0校・長崎2校・熊本3校・大分2校・宮崎1校・鹿児島0校・沖縄3校

福岡	北九州国際大学	現代ビジネス学部	地域経済学科 観光ビジネスコース
	日本経済大学	経済学部	商学科ホテル・観光ビジネスコース
	★九州産業大学	地域共創学部	観光学科
	福岡女子院大学	人文学部	現代文化学科
	久留米大学	経済学部	経済学科
長崎	西南女学院大学	人文学部	観光文化学科
	長崎国際大学	人間社会学部	国際観光学科 観光マネジメントコース
	長崎国際大学	人間社会学部	国際観光学科 グローバルツーリズムコース
熊本	鎮西学院大学	総合社会学部	経済政策学科 地域政策コース
	東海大学（熊本キャンパス）	文理融合学部	地域社会学科
	熊本学園大学	商学部	ホスピタリティ・マネジメント学科
大分	尚綱大学	現代文化部	文化コミュニケーション学科
	別府大学	国際経営学部	国際経営学科 観光・地域経営コース
宮崎	立命館アジア太平洋大学	サステナビリティ観光	サステナビリティ観光学科
	宮崎国際大学	国際教育学部	比較文化学科 ホスピタリティ・観光マネジメント
沖縄	琉球大学	国際地域創造学部	国際地域創造学科 観光地域デザインプログラム
	★名桜大学	国際学部	国際観光産業学科
	沖縄キリスト教学院大学	人文学部	観光文化学科

★九州産業大学



「さいき産品ブランド化事業」に参加し、佐伯産品を使用したメニュー開発に協力し、佐伯食材に関する感想や意見の報告を行った。



他大学と連携し福岡のMICE誘致とLGBTQツーリズムの可能性を示すプレゼンを実施

★名桜大学



▲沖縄アリーナ株式会社 片野竜三取締役が講座講師として登壇し、沖縄アリーナの活動や沖縄におけるMICE開催の波及効果についての講演を実施。



小山ゼミ「The First Penguins」が「全国学生ピッチコンテスト JAPAN MICE Challenge」に参加 ▲生成AI系の国際学会をやんばる地域に誘致することを目的としたプレゼンをし、見事審査員特別賞を受賞。

04 提言2

観光学部に関する調査

[1]

須藤 正美・百花 朗生 (2018)『大学MICE教育の課題』桜美林大学,p10

[2]

札幌国際大学 (2024)「【観光学部】サウナイベントにテントサウナ出展！」

<https://www.siu.ac.jp/news/detail.html?news=1161>

[3]

札幌国際大学 (2024)「【観光学部】ぶどう収穫★ボランティアツアー in 仁木町」

<https://www.siu.ac.jp/news/detail.html?news=1159>

[4]

北海道商科大学 (2024)「観光産業学科学生の創成東エリア活動」

https://www.hokkai.ac.jp/news/2024/04/09/240409_1/

[5]

株式会社コングレ (2025)「東洋大学 日本観光振興協会 寄附講義「観光企業概論」」

<https://www.congre.com/report/20250120-lec/>

[6]

株式会社コングレ (2019)「首都大学東京の都市環境学部「MICE論」」

<https://www.congre.com/report/20191219/>

[7]

立教大学 (2021)「立教大学観光学部による企画展示コロナ禍の今、埼玉の魅力を再発見!!」

<https://www.rikkyo.ac.jp/news/2021/07/mknpps000001oiin.html>

[8]

帝京平成大学 (2024)「交流から「共創」へ」

<https://www.thu.ac.jp/news/2024/241106-02>

[9]

跡見学園女子大学 (2025)「【観光デザイン学科】東伊豆町の地域活性化事業に貢献」

<https://www.atomi.ac.jp/univ/activity/detail/14583/>

[10]

横浜商科大学 (2018)「MICEビジネス中核育成講座を開催」

<https://www.shodai.ac.jp/news-topics/13/>

[11]

新潟経営大学 (2023)「経営学実地研究(観光まちづくり)加茂市街地班の企画」

<https://x.gd/ld1bZ>

[11]

新潟経営大学 (2023)「経営学実地研究(観光まちづくり)加茂市街地班の企画」

<https://x.gd/ld1bZ>

[12]

新潟経営大学 (2019)「糸魚川市と「観光連携協定」」

<https://x.gd/HKCNU>

[13]

京都外国語大学 (2022)「兵庫県神戸市にある風見鶏の館と南京町で行ったフィールドワーク」

<https://www.kufs.ac.jp/blog/department/gt/detail/1737>

[14]

安田女子大学 (2024)「【オリエンタルホテル広島】安田女子大学 国際観光ビジネス学科と連携」

<https://prtimes.jp/main/html/rd/p/000001619.000016207.html>

[15]

大阪国際大学 (2025)「学生企画「ならまちのオリジナルマップの作成に挑む！」」

<https://www.oiu.ac.jp/2025/03/19/15449/>

[16]

大阪成蹊大学 (2024)「「古刹・欣勝寺」でインバウンド観光客向けの推し活イベントを企画運営」

<https://www.u-presscenter.jp/article/post-54859.html>

[17]

九州産業大学 (2025)「大分県さいき産品ブランド化事業に協力」

<https://www.kyusan-u.ac.jp/faculty/chiiki/news/dt-project-saiki2025/>

[18]

九州産業大学 (2024)「福岡のMICE誘致とLGBTQツーリズムの可能性を示すプレゼン」

https://www.kyusan-u.ac.jp/faculty/chiiki/news/dt_1031/

[19]

名桜大学 (2024)「日本初のMICE学生ピッチコンテスト JAPAN MICE Challenge」

https://micejapan.jp/mice-japan/pdf/JAPAN%20MICE%20Challenge_04.pdf

[20]

進路ナビ「全国の観光学が学べる大学一覧」

[https://shinronavi.com/search/result?sk\[\]=A&fld\[\]=L-204](https://shinronavi.com/search/result?sk[]=A&fld[]=L-204)

05

付記

05 付記

MICEの認知拡大

- MICEのブランドロゴ作成
- 職場体験、社会科見学の開催。教科書へのMICE記載。
- 調理師専門学生のお弁当をMICEで提供など学生の参画機会の創出
- MICE検定の創設。
- MICEのEに着目したプロモーション展開

MICE人材のモチベーション向上人材育成

- ビューローやPCOのインプット機会の創出
- PCOやビューロー職員を対象とした報奨旅行の開催
- 年功序列のビューローが多く、評価制度の改定や造成などできないか
- 准教授や講師など、MICEの未来を担う主催者への勉強会開催
- MICEの開催貢献賞を地域単位で開催
- 立場に応じたMICEのPR資料の作成

地域連携

- 会場周辺の飲食店との連携
- エリア単位でのコンテンツ整理を行い提案力アップに寄与できないか

その他

- キッズルームや保育士確保など、子ども同伴の主催者への支援の充実
- サステナビリティを意識したコンテンツ造成



ありがとうございました